

令和5年度 学校評価総括表(御所小学校)

1 学校教育目標 「三あい運動(学びあい、喜びあい、励ましあい)」を通して、夢に向かってたくましく、共に生きる未来を創る子供を育成する。

2 本年度の重点目標

- ① 確かな学力の育成 ② 地域への愛着と誇りを育む教育の充実 ③ 「きびだんご日本一」の学校づくり

3 総括表

評価規準 S:大変よくできている(95%以上) A:よくできている(90%以上) B:できている(80%以上) C:努力がいる(60%以上) D:大変努力がいる(60%未満)

領域	評価項目	学校アンケートの結果	評価	次年度への課題等
学校経営及び学校運営	経営方針の明確化とその実践状況	・教員アンケート「学校教育目標実現に向かって、学校運営がされている」の項目では、「あてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。 ・保護者アンケート「学校は、教育方針を分かりやすく保護者や地域に伝えている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると87%であった。	A	・学校教育目標の実現を目指し、今後も学校運営協議会やPTA役員会等において周知を図り、保護者や地域の方との協働体制を確立する。 ・教職員には、様々な学校行事等と関連させながら、学校教育目標の具現化を図り、「チーム御所小」として組織的に取り組めるようにする。 今後も教職員一人一人の特性を考慮したうえで、校務分掌を決定するとともに、年度始めの共通理解はもちろんのこと、年度途中であっても適切な修正を加えるなどして、組織的に機能できるようにする。 ・3部会については、PDCAサイクルを回しながら、今年度の成果と反省を生かして、具体的な取組を実践する。 ・メンター制を活用し、教員のニーズに合った研修を計画する。 ・次年度も外部講師を依頼するなどして、全教職員のコンプライアンス意識の醸成に努める。 ・メンタルヘルスの保持増進の観点からの研修を充実させる。 施設管理については、今後も教職員全員で定期的な点検を行い、児童にとって安心・安全な学習環境を整える。 ・校務支援システムの活用、職員会議における資料のペーパーレス化等、校務の効率化をさらに進める。 ・業務の平準化、教材の共有化を図るとともに、「かえるぼーど」等によって自身の働き方を見える化し、ワークライフバランスを意識した働き方を推進する。
	校務分掌分担の適正化と組織的な活動・運営	教員アンケート「校務分掌は校正かつ適正・能力に応じて分担され、意欲的に取り組める環境にある」、「教職員間の話し合いが十分に生まれ、共通理解に基づいて教育活動が行われている」の2つの項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると、共に100%であった。	S	
	教職員研修体制の確立と実践	教員アンケート「校内研修計画に沿って、充実した研修を実施している」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると94%であった。	A	
	教職員の資質向上に向けた取組	・教員アンケート「自らの課題意識により、自己研修に努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると88%であった。 ・コンプライアンス推進計画に基づき、e-ラーニング研修や外部講師を招聘した研修の実施等によって、教職員一人一人のコンプライアンス意識の醸成を図ることができた。	B	
	教育環境の安全管理及び整備	・保護者アンケート「学校は、子供の安全対策や健やかな心と体の育成に努めている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると94%であった。 ・教員アンケート「保健・安全教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成するよう努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると、100%であった。	S	
	働き方改革	教員アンケート「勤務時間を意識し、業務を効率的に行えるように努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると71%であった。	C	
教育活動	確かな学力(学習指導)	・保護者アンケート「学校は、子供が楽しく学べるために『分かる』授業に努めている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると92%であった。 ・教員アンケート「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行い、よく分かる授業に努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	S	・今年度の取組の成果と課題を振り返り、次年度から学校全体で取り組む具体的な方策を決め、実施する。 ・読書の習慣化については少しずつ成果が現れてきたので、今後も「ふれあい読書」や「わくわく読書デー」等の取組の充実を目指す。 ・報告・連絡・相談を合い言葉に、教職員全員の共通理解のもと、生徒指導にあたる。 ・ポジティブな行動支援の視点からのアプローチをさらに充実させる。 今後も学校教育目標を基に、互いを認め合い、支え合う集団(学校)づくりを目指し、学校経営(学級経営)に取り組む。 ・体力づくりについては、年間を通じて計画・実施し、児童一人一人の体力向上を目指す。 ・安全教育(防災・防犯)については、計画的に避難訓練を実施するとともに、地域や関係諸機関と連携しながら取り組む。 ・毎学期の始めに個別の指導計画を作成し、それに沿った指導ができるようにする。 ・保護者と連携しながら教育相談等を行い、専門的な視点からの指導の充実を図る。
	生徒指導	・保護者アンケート「学校は、保護者からの連絡や相談に、迅速かつ適切に応じている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると93%であった。 ・教員アンケート「深い児童理解に努め、全教職員の共通理解のもと、チームで生徒指導に取り組んでいる」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	S	
	心の教育(人権教育)	・保護者アンケート「学校は、人権教育・道徳教育に取り組んでおり、自分や周りの人を大切にできる子供の育成に努めている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると92%であった。 ・教員アンケート「全教育活動において人権感覚を磨き、態度化・行動化にまで高まるよう努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	S	
	健康・安全教育(体力づくり)	・保護者アンケート「お子様は、毎日朝食を食べて登校し、健康管理や体力づくりができている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると98%であった。 ・教員アンケート「保健・安全教育を充実させ、健康で安全な生活を営む力を育成しようとして努めている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	S	
	特別支援教育	・保護者アンケート「学校は、子供のことを理解するように努めており、子供のことについて相談しやすい」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると92%であった。 ・教員アンケート「特別な支援を必要とする児童への校内支援体制が整備されている」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	S	
保護者・地域との連携	情報発信及び地域とともにある学校づくり	・保護者アンケート「学校は、学級(学校)の様子や学習内容などを通信やホームページ等でよく知らせている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると95%であった。 ・教員アンケート「学校公開や情報発信に努めている(参観授業、たより、ホームページなど)」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると88%であった。	A	・学校・学年だより、HP、PTA役員会、学校運営協議会等、様々な場と機会をとらえて、情報を発信する。 ・マチコメールを活用し、緊急時においても正確な情報がスムーズに周知できるよう努める。 今後もPTA役員会や学校運営協議会での協議を踏まえ、子供たちのよりよい成長のために、保護者や地域の方々との連携を図りながら、学校教育の充実を図る。 なかよし班を活用して異年齢集団での活動を推進し、三あい運動(学びあい・喜びあい・励ましあい)の充実を図る。 体験的な学習を計画的に実施し、事前・事後学習の充実を図り、感謝の気持ちやふるさとへの愛着と誇りを育む教育を推進する。
	PTA活動の活性化	・保護者アンケート「学校は、保護者や地域の願いにこたえ、連携して教育活動を行っている」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると87%であった。 ・教員アンケート「学校や児童の様子を積極的に保護者や地域に知らせ、連携をとって児童の成長を支援している」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると100%であった。	A	
	地域の人材や外部講師の活用	・保護者アンケート「学校は、児童が仲良く学びあい・喜びあい・励ましあうことができるよう、なかよし班活動(異学年交流)や体験活動の充実に取り組んでいる」の項目では、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせると90%であった。 ・教員アンケート「地域や関係諸機関や諸団体との連携を図り、教育効果を挙げている(交流学习、ゲストティーチャーなど)」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると94%であった。	A	
	地域行事やボランティア活動への参加	・保護者アンケート「学校は、ふるさと御所への愛着と誇りを育む教育に取り組んでいる」の項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると90%であった。 ・教員アンケート「体験活動を重視し、感謝の心を育むよう実践している」の項目では、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」を合わせると94%であった。	A	

4 学校関係者評価(学校運営協議会委員からの意見)

- ・働き方改革については、「かえるボード」による働き方の見える化、校務支援システムの活用などの工夫を継続して進めてほしい。教職員一人一人にとって、さらに働きやすい環境づくりを目指して取り組んでもらいたい。
- ・ランドセル等の持ち物などは、保護者の意見を尊重しながら、柔軟に対応してもらいたい。
- ・今後も学校運営協議会委員として、御所小学校の教職員や保護者と連携を図り、よりよい児童の育成を目指して協力していきたい。

5 総合評価

学校アンケート(児童・保護者・教員対象)の結果は、おおむね高評価であった。今後も学校教育目標の実現を目指し、体験活動や異年齢活動、人権教育のさらなる充実を図りながら、児童一人一人がよりよく成長できるよう、組織的・継続的に取り組んでいく。そのためには、学校だけではなく、家庭・地域との連携をより一層充実させ、三者の協働体制で子供を育てるという視点を大切にし、教育活動を推進してまいりたい。